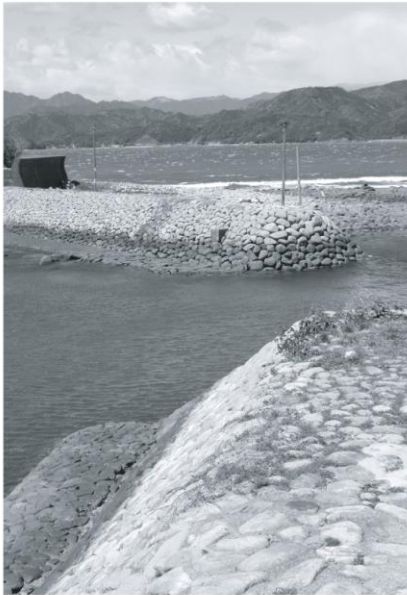


一 般 質 問

9月議会では、4名の議員が一般質問を行いました。



出羽島の防波堤

出羽島の未来像そのゆくえは

榎谷 千重子 議員

出羽島の町並みを活かした「ミセ」をはじめ大正時代の家屋の文化を残そうと、各大学の調査団が調査を重ねており、修復には相当の財源が必要かと思えます。人口の減少や文化財指定後の財源の確保等、町長自ら奮闘しておられますが、出羽島集落の未来像について、こういった構想を持っているのかお聞きします。

成功を踏まえ、混雑したトイレの解決策に、屎尿処理パイオの設置を、アート展の期間限定で検討してはどうか。現在、飯館村で設置し、大きな節約につながっている事例もあり、佐那河内村でも設置の予定です。一度企業専門家を招いて説明会や現地視察に行つてはどうか。

環境問題にいち早く牟岐町が取り組むことにより、出羽島の重要伝統的建造物群の指定については、島の人口が毎年4%ずつ減少を続ける現状から、人口減少をとどめ、島の生活を守るために、島の魅力と価値を内外に知らしめ、重伝建に指定されることにより、設計も含め、屋根、外壁の改修工事は補助対象となり、工事もしやすくなります。

文化財として後世に残すという大きな意味を持ち、今後の島の生活を守るため、先祖が残された貴重な島の文化を後世に残すためにも指定に向け取り組みたい。アート展の生ゴミ処理機の導入の件ですが、導入にあたっては半分の補助が出ると聞いています。デモ的・試験的にアート展に導入するか検討して参りたいと考えています。

木村教育次長

出羽島を有機処理機による島では日本最初のモデルとして、アート展に並びスポットを当ててみてはどうか。

福井町長

出羽島の伝統的建造物群の取り組みですが、いま住んでいる方がこれからも住み続けることができるよう島を残していくことを前提に、文化庁よりの選定を目指したいと考えています。対象物件として、96軒の所有者に対し各戸を回り、町外の方には文書又は電話で連絡をし、家屋調査をお願いしています。

問題点としては、出羽島をどのような位置付けにするのか、具体的なビジョンが今のところ決まっています。メリット、デメリット、いろいろな面からどのように保存し、活用していくか、方向性を一緒に考えたいと思っています。

神社、仏閣など、出羽島の歴史や民俗の面からも、調べる段階で、来年度には住民保存会の立ち上げ、保存審議会の設置、保存条例の制定、保存計画の策定など、文化庁へ保存地区の選定の申し出を行う流れです。あくまでも住んでいる方の家の持ち主がまちづくりの中心と主役になります。